

第166回がんサーボード

第3回 地域連携 カンファレンス



日時：2016年7月19日(火)

18:00～19:00

場所：横浜市立大学附属病院4階第1会議室

JR「新杉田駅」、京浜急行「金沢八景駅」より
シーサイドライン「市大医学部駅」下車徒歩1分

超高齢化社会を迎えた現在、地域で生き抜くがん患者様の抱える問題は複雑化しています。老々介護や単身世帯の増加により、がん患者様のQOLを維持していくためには「病状管理」に加え、「療養環境の場の管理」が必要とされてきているといわれています。住まい、医療、介護、予防、生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムの構築が必要です。

今回のがんサーボードでは、ご自身の療養の他に、認知症を発症した家族の介護を必要としている患者様の事例を通し、患者を取り巻く専門家たちの支援の在り方を共に考えてみませんか。

事例紹介：横浜市立大学附属病院 肝胆膵消化器病学 指導診療医 佐藤 高光
横浜市立大学医学部 神経内科学 准教授 土井 宏

事例提供者：横浜市立大学附属病院 化学療法センター看護師 長田 智香
横浜市立大学附属病院 福祉・継続相談室看護師 清田 みゆき

発言者：樹診療所 院長 山田 朋樹
居宅介護支援事業管理者（担当ケアマネ） 小林 由美子
横浜市港南中央地域ケアプラザ（地域包括担当者） 加山 久美子

Hot tea & coffee
ご用意しております

主催：横浜市立大学がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン
共催：横浜市立大学附属病院医学・病院企画課、医事課・地域連携